



なのはなさくら



第4号

文責 三浦 智

【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

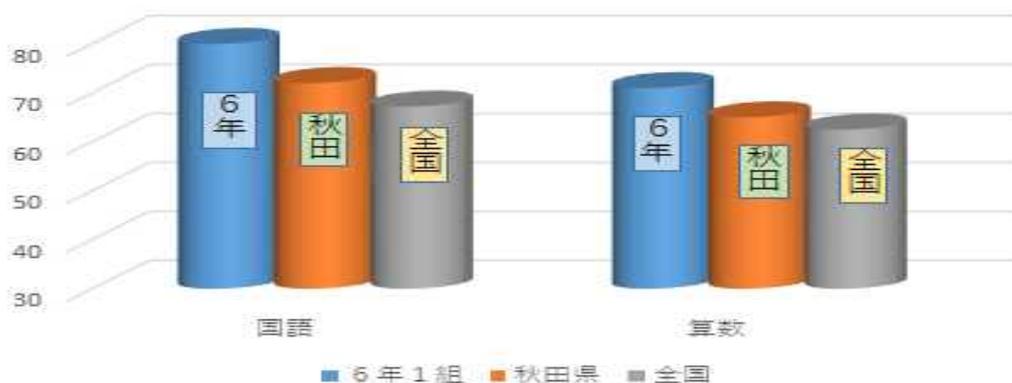
4月中旬に全国学力・学習状況調査（以下、全国調査と記します）行われました。その結果が、7月下旬に公表されました。今年度は、国語と算数の2教科（昨年度は理科も含む3教科）の実施でした。同時に学習や生活に関する質問紙調査（アンケート調査）も実施されました。6年生対象ではありますが、本校ではこの結果を全校の傾向として捉え、分析し、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。
本校の結果とともに、今後の取組についてお知らせします。

令和5年度 全国調査 結果

6年生は、全県・全国の平均を上回りました

1 教科の調査結果から

6年生 教科平均正答率（％）



【各教科】

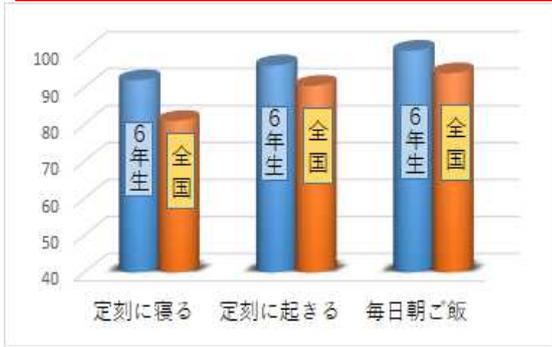
全国平均との正答率の比較では、国語は14.8%、算数は8.5%上回りました。正答数で考えると、国語で約2問、算数で1.3問以上が上回ったこととなります。また、県平均との比較でも、両教科とも大きく上回っています。

2 質問紙調査の結果から

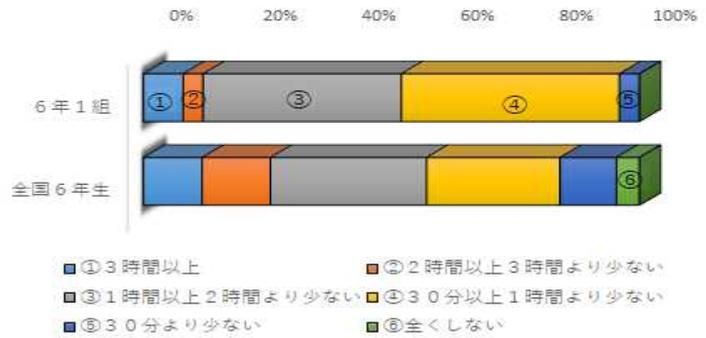
今年度の調査では、大きく二つの特長が明らかになりました。
一つ目は、学校で進めている学習指導での重点「三智」（学んで、人と話し合っ、体験して得る智）に関する意識の高まりが見られることです。（1）から主な項目を紹介していきますが、多くの項目で、望ましい結果を示しています。自ら学びを進める学習になるように今後も授業改善に努め、学力向上を目指します。
二つ目は、6年生は、本校の目指す子ども像にある「思いやりの心もち、あきらめずに頑張りぬく子ども」に向かってよい成長をしてきているということです。このことについては（4）からの項目で紹介します。

(1) 基本的な生活習慣や学習習慣について

早寝・早起き・朝ごはん



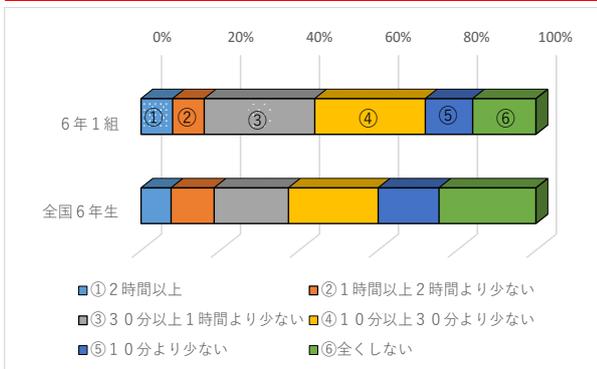
平日の家庭学習時間



- 『早寝・早起き・朝ごはん』に関して、全国平均よりよい傾向が見られます。特に定刻に寝るという項目は全国よりも約11%高い結果でした。他の二つの項目も全国を上回りました。
※このグラフは、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」の肯定的な回答をした児童の割合を示しています。
- 『家庭学習』は比較的良い状況でした。全国と比較するとよい結果といえます。「1時間以上」が52%で、「30分以上1時間未満」が44%ということで、学校で目標としている「高学年60分」に近いといえます。1時間未満と答えた児童がこの後少しでも時間を延ばせるよう指導していきたいと思えます。家庭学習の習慣化は学力向上にはとても大切な要素です。計画的な時間の過ごし方で是非目標に近付けてほしいと思えます。

(2) 読書について

授業以外に1日当たりどれくらい読書を読みますか

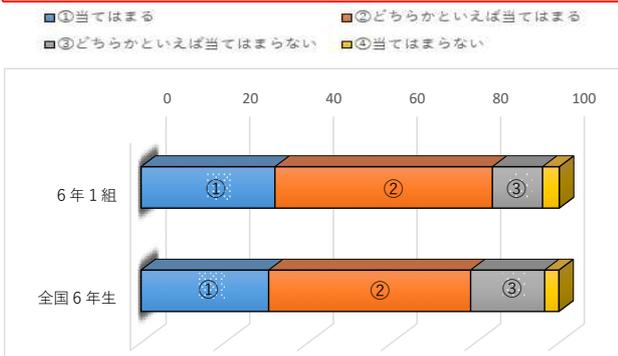


- 全国平均と比べると、読書時間は、上回っています。しかしながらじっくり読書の時間を確保している児童は少ない傾向にあります。
- 関連して新聞を読んでいるかの質問では、全国と比較するとかなり読む方でした。また、家での蔵書についても全国平均より多く所有しています。文字を読む習慣はその環境も大切ですし、習慣付けることができるとよいと考えています。

(3) 学習について

①学習への意欲について

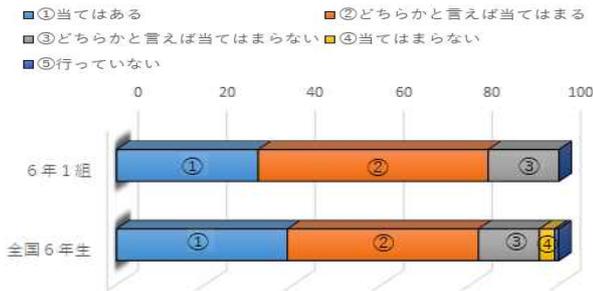
課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



- ①本校では、学習課題を児童と共に見付けたり設定したりすることにより、児童が主体的に課題の解決に取り組めるようにしています。グラフから肯定的に答えた児童が、全国に比べて少し多いことが分かります。自ら課題に取り組む意欲は学習の中でも重要な要素になります。今後も、児童に「解決したい、やってみたい」という課題意識をもたせる授業づくりをしていきたいと思えます。

②話し合う活動について

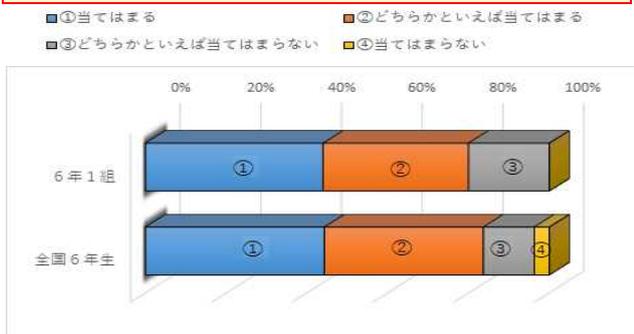
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている



②本校では、授業の中で児童同士が話し合う場面を確保し、一人一人の学びを深めることを重点としています。肯定的な回答は84%（全国比+2.2%）と全国平均とほぼ同じでした。話し合うことは、新たな気付きや発見につながります。今後も話し合い活動が充実するように、またクラス全体での話し合いになるように工夫改善をしていきたいと考えています。

③道徳科について

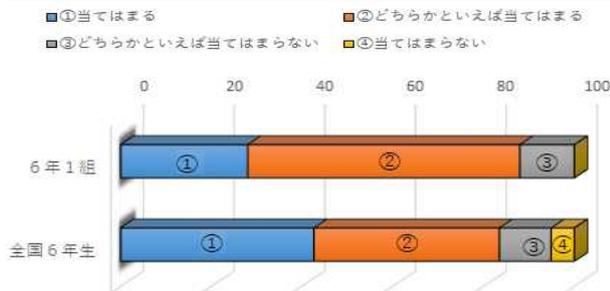
道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級で話し合ったりする活動に取り組んでいる



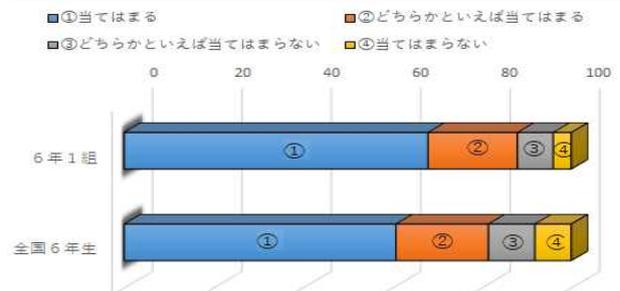
③本校では、教科になった道徳について全教職員で研究し「考え、議論する道徳」を目指しています。考えをを深めたり、話し合ったりする活動に肯定的な回答した児童は全国と同程度でした。議論することの難しさは感じていますが、今後も、自分の考えをもち、相手の考えを認め合いながら議論できる授業を考えていきたいと思ひます。

(4) 自分自身について

自分にはよいところがあると思いますか



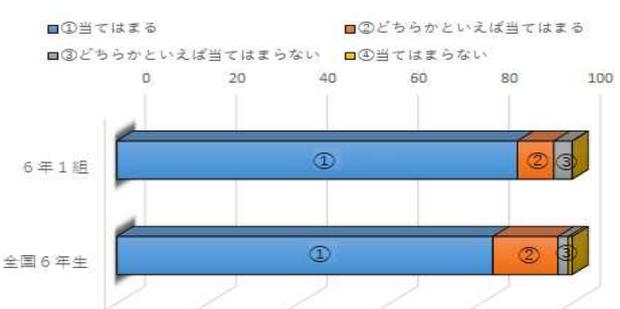
将来の夢や目標をもっていますか



人が困っているときは、進んで助けていますか



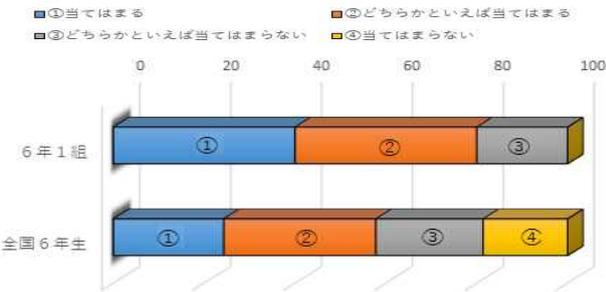
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか



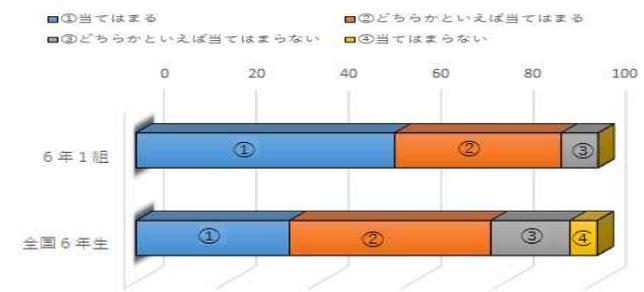
○児童は、自分自身をどう捉えているのでしょうか。四つの項目で全国と比較してみても全国平均とほぼ同じ傾向になっています。6年児童にはよいところがたくさんあります。感じました。児童が自覚していない部分もあると感じました。周りの声かけや認め合いが大切だと感じました。今後は、肯定的な回答（③または④）だった児童に対して個別の対応が必要だと思います。

(5) 地域とのつながりについて

今住んでいる地域への行事へ参加していますか



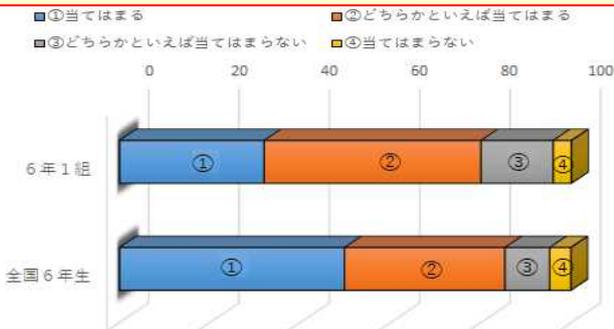
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



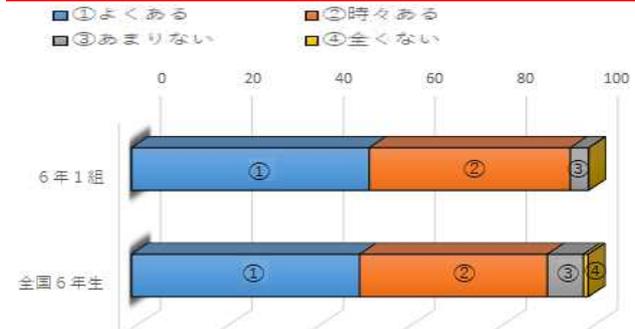
- 全国の結果と比較すると、積極的に地域行事に参加している方だといえるでしょう。児童は学校以外でも様々な活動をしています。その中で、地域コミュニティとの関わりは多くのことを学ぶよい機会だと考えます。地域の皆様方も温かく児童を育てていると感じました。
- 「地域のために何かしてみたいと思う」ということは、全国と比較するとよい方だと思えます。これまで地域から温かく見守られてきている児童は、大潟村に対して何か貢献したいと思うようになってきていると考えられます。この後、なのはなタイムのまとめとして大潟村のことを考えていく学習でその思いが発揮できるとよいと思います。

(6) その他について

学校に行くのが楽しいと思いますか



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



- 「学校に行くのが楽しいか」の設問では、80%の児童は肯定的に答えていました。否定的な回答をした児童には今後よく話を聞き個別に対応していきたいと考えています。
- 本校では「笑顔と開拓者精神」というキーワードを意識しながら学校経営を行っています。今の生活に対して96%の児童が幸福感をもっているという回答に多少の安堵感があります。学校生活を笑顔で過ごせることは児童にとってとても大切なことだと感じています。

学校に自分の居場所がある、学校で自分のやりたいことがある、学校で何かに挑戦してみたいなどと思える大潟小学校でありたいと思います。そのためには、それを後押しする環境も大切です。学校や保護者、地域が一体となって児童の背中を押してあげられるような環境をつくっていきたく思います。

3 今後の取組

- 今後次の三つを重点に、課題の克服に取り組んでまいります。
 - ◎ 考えを伝え合い、学びを深める授業づくりを推進します。児童は自分の考えをもち、友だちの話をしっかり聞き、友達の考えを認めながら話し合い活動のある授業を目指します。
 - ◎ 温かな関わりと居心地のよい学級づくりをしていきます。人との関わり方の基本であるあいさつをしっかりとできるようにしていきます。また、クラスみんながきちんとルールを守り、相手のことを認め合えるような活動をしていきます。
 - ◎ 思いやりの心を持ち、あきらめずに挑戦する指導を大切にしていきます。道徳の時間で話し合いをしながら心を育て、学校行事などで自分の役割を自覚し目標をもって活動できるような指導していきます。